



同年月日	平成	年	月	日	常務理事	事務長	会計	抜者	被扶養者 台帳照合印						
支払年月日	平成	年	月	日											
支給額		拾万	万	千	百	拾	円								
支給内訳	法定	款	項	目	拾万	万	千	百	拾	円	資格	得	年月日	療始	年月日
附加											喪	年月日	養終	年月日	
種目	請求	査定	種目	請求	査定	種目	請求	査定	種目	請求	査定				
初診		円		円	注射		円				円				
再診					検査										
往診					処置及び手術				合計						
投薬									一部負担						

被保険者 療養費 支給申請書 (第 回目)
健康保険 被保険者 療養費 療養附加金

◎記入の方法は裏面に書いてありますからよく読んでください。
◎「※」印欄は記入しないでください。

被保険者証の記号・番号	④ 生年月日	⑤被扶養者番号	⑥給付記録番号	⑦受取代理人	⑧ 受付年月日
①	②	③	1:明 3:大 5:昭 7:平	※	※
⑨被保険者の(申請者)氏名と印	(フリガナ)	事業所の(所在地)			
⑩被保険者の(申請者)住所	⑩郵便番号	(フリガナ)	(電話番号)		
	⑪住所コード		()		
療養が被扶養者に関するときは、その者の(ウ)氏名	(イ)生年月日	明治 大正 昭和 平成	年月日生	(オ)被保険者の続柄	
⑫傷病コード	※	(カ)傷病名		⑭発病又は負傷年月日(療養開始日)	
⑬カナ	※				
(キ)発病又は負傷の原因及びその経過				⑮第三者行為によるものですか。	
				0:いいえ 1:はい	
診療を受けた病院等	(ク)名称	(ケ)診療した医師氏名			
	(コ)所在地				
⑯診療の期間(支給期間)	自 年 月 日	⑰入院・入院外の別	(イ)入院の場合左記の入院期間	(ロ)診療に要した費用の額	
	至 年 月 日	0:入院外 1:入院	自平成 年 月 日 日間 至平成 年 月 日 日間	円	
(カ)診療内容		(キ)療養の給付を受けることができなかった理由			

療養費の別	1. 立替払い等	⑱ 療養の原因(コード)		⑲ 施術回数	回
	2. 治療用装具	⑱ 治療用装具(コード)	⑲ 支給種別	1 初回支給 2 補修 3 再支給	⑳ 装着年月日
	3. 生血	⑱ 輸血回数			年 月 日
(21)支給回数	(22)支給算出額	(23)調整減額コード	(24)調査先コード	(25)海外表示	(26)特別支給コード
回	円			0:国内 1:海外	(備考)

平成 年 月 日 提出

事業所
担当者印

領収書

金 円也領収いたしました。

平成 年 月 日

健康保険組合理事長殿

氏名 (印)

※ 受付日付印

支払金融機関の欄	(27) 支払区分	※ 1: 振込 2: 銀行送金 3: 郵便局送金 4: 当地払	(29) 預金種別	1: 普通 2: 当座 3: 通知 4: 別段	(30) 銀行 金庫 農協	本店 支店
	(28) 金融機関コード	※		口座名義		
	(31) 口座番号					郵便局

受取代理人の欄	(26) 本請求に基づく給付金に関する受領を代理人に委任します。					
	平成 年 月 日					
	被保険者 住所 (申請者) 氏名					
	(32) 代理人の氏名と印	(フリガナ)				(27) 委任者と代理人との関係
代理人の住所	(32) 郵便番号			(フリガナ)		
	(33) 住所コード	※				

領収（診療）明細書

患者名		傷病名	
入院外		入院	
初診	時間外・休日・深夜	初診	時間外・休日・深夜
再診	時間内 時間外 休日・深夜	投薬	内服 外用
往診	普通・難路 夜間・暴風雨雪 同、家屋	注射	皮下筋肉内 静脈
指導		処置及び手術	材料 酔剤
投薬	内服 外用 調剤	検査	レントゲン 透視 造影
注射	皮下筋肉内 静脈内	その他	入院
検査		入院	1月未満 1月～3月未満 3月以上 給食の有・無
レントゲン	透視 造影	合計	合計
処置及び手術	材料 酔剤	合計	合計
その他			
合計	円	合計	円

(備考) すでに申請の対象となる費用について領収証明を発行しているときは、「領収」の字句を消し、「診療証明書」として所定の事項を記入して下さい。
(添付書類についての注意)
(1) 歯科診療に関する申請のときは、別の領収証書をつけて下さい。
(2) 輸血に関する申請のときは、「輸血を必要と認めた医療担当者の証明書」及び「血液代金の領収証書」をつけて下さい。
(3) コルセット・ギプス・義肢等に関する申請のときは、それらの「装着が傷病の治療のため必要と認められる医療担当者の証明書」及び「実費」について「領収証書」をつけて下さい。
(4) 海外における療養費の申請のときは、「診療内容明細書」及び「診療明細書」をつけて下さい。
なお、証明書等が外国語で記載されている場合は、翻訳者の住所・氏名を明記した翻訳文を添付して下さい。

上記のとおり領収（診療）いたしました。
平成 年 月 日

医師の 住所
氏名